

汗だく「わっしょい」盛大に



大きなかけ声とともに元気よく屋台を引っ張る子どもたち＝15日、新温泉町浜坂

川下大祭が幕開け

「京二屋台」巡行、ムード盛り上げ

但馬三大祭りの一つとされる新温泉町の川下大祭が15日、盛大に始まった。初日の宵宮では地元の子どもたちが伝統の「京二屋台」を引いて同町浜坂地区の商店街などを練り歩き、祭りムードを盛り上げた。

(井上雅大)

川下大祭は同町浜坂の宇都野神社の例祭。起源は江戸時代にさかのぼり、屋台が伝統を守り続けている。引き手役を担った地元の子どもたち約30人は午後6時に出発。その日の法被を不足などから昭和の時期に姿を消したが、のちに復活。現在は唯一残る京二屋台、高約4・5m、重約2

トの屋台を綱で元氣よく引張った。

途中のJR浜坂駅前では傘踊りのほか、浜坂高タンズ部によるパフォーマンスが披露され、大勢の見物客でにぎわった。

今年で2回目の参加とい

う浜坂北小6年の谷田和花さん(10)は「去年よりお客さんが多かった。皆と話しながら引くのが楽しい」と笑顔で汗を拭いた。

16日の本祭では、みこしが宇都野神社を出発して町内を巡行。同日午後8時から浜坂真民サンビーチを会場に約3千発の花火が打ち上げられる。最終日の17日には還御祭がある。

造を 旬民と以綱を漁に始船す